

東京工業大学学生交流の活性化に向けた調査業務仕様書

1. 目的

大学改革及びスーパーグローバル大学創成支援事業において、すべての学生に海外経験をさせるなど学生交流のさらなる活性化を目指している。これを実現するため、国内外の他大学の状況を情報収集し、これを支える環境を整備することを目的としている。

2. 要件

○ウェブ情報や各種指標を参考に国際化を推進している国内最先端の7大学程度（私立大学は必ず含む）及び海外最先端の大学（2大学）に対して、次のことについて調査を実施する。調査の際は必要に応じて本学職員が同行する。

1) 受入・派遣学生のデータ管理方法

- ・学生受入・派遣事務に係る業務管理に学習管理システム（LMS）等のシステムを導入状況
- ・留学中、留学後のフォローアップ方法
- ・受入・派遣留学生の帰国後のフォローアップ（追跡調査）実施状況

2) 学生の受入方法

- ・全体として一元的に受入・ケアをしているか、あるいは、研究室単位で受け入れているか
- ・研究室単位での受入の場合は受入教員をどのように確保しているか

3) 宿舍の提供状況（ホームステイ含む）

4) 奨学金の支給状況

5) 派遣学生の費用負担方法

- ・授業料に含める、積立方式等

6) 危機管理体制

- ・マニュアル整備状況
- ・メンタル面のサポート体制

7) 実施体制について

- ・留学コーディネーター職をおいているか

8) 広報体制

- ・派遣・受入学生を増やすための対策、PR方法

9) 授業について

- ・英語科目の拡充・強化状況
- ・日本語教育の状況
- ・留学生のためのインターンシップの実施状況

10) 外部委託の現状と予定（フライト・宿舍手配、空港出迎え、ビザ申請代行、他）

3. 納品期限

平成27年3月27日（金）午後5時までに本学に調査報告書を納品すること。

4. その他

仕様書に明示されていない事項については、発注者と受注者との協議の上、これを定めるものとする。また、納品された原稿・写真の著作権は、本学が有するものとする。

以上